学校だより
めざす学校像 ＜ 仲間とともに、愛と絆を育む学校 ＞
かわっこ
令和8年11月2日発行 No.13〈河曲小HP〉
鈴鹿市立河曲小学校
電話 059-382-0268
Fax 059-382-7851
https://www.edu.city.suzuka.mie.jp/eskawano/

３年生 社会見学に行ってきました！

10月16日（金）、３年生が初めての社会見学に出かけました。旭化成鈴鹿工場では全自動で進む高い技術力に驚き、白子漁港では大迫力のイワシの水揚げや生きたカニとの触れ合いに大興奮。鈴鹿市中央消防署では、見学中に本物の119番通報が入り、わずか1分足らずで緊迫感をもって出動する消防士の姿を息をのんで見守りました。五感で「働く人の工夫や思い」を肌で感じた貴重な一日となりました。





第43回「河曲スポーツフェスタ」が開催されました！

10月18日（日）、こどもから高齢者まで地域が一体となる伝統の「河曲スポーツフェスタ」が開催され、本校児童も多く参加しました。つながりの希薄化が叫ばれる今、誰かに頼るのではなく、私たち一人ひとりが「当事者」として学校や地域を創り上げていく『志』こそが、未来を切り拓く力になります。世代を超えて絆を深め、こどもの成長をともに支え合う姿は、まさに本校が目指す「地域とともにある学校」の理想そのものです。熱い想いでこの貴重な機会を支え、大切に引き継いでくださった河曲地区体育委員の皆様をはじめ、地域の皆様に心より感謝申し上げます。





算数2年「かけ算」の学習が始まりました！～式の順番に迷ったら～

２年生の算数では、いよいよ「かけ算」の学習が本格的に始まっています。こどもたちは九九の暗記に一生懸命取り組んでいますが、文章題に入ると「どちらの数字を先に書けばいいのかな？」と式の順序でつまずく姿がよく見られます。たとえば、次のような問題です。

「ボートが２そうあります。１つのボートに６人乗っています。全部で何人ですか？」

この問題の正しい式は６×２＝１２です。しかし、問題文に登場する数字の順番通りに「２×６」と書いてしまう間違いが非常に多く見られます。

小学校の算数では、かけ算の式を「1つ分の数(基準になる量)×いくつ分＝全部の数」という意味の順序で立てるよう指導しています。

●1つ分の数：ボート１そうあたりの人数（６人）

●いくつ分：ボートの数（２そう）

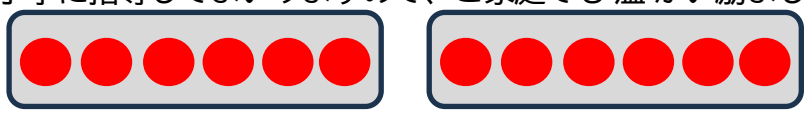
そのため、式は「６×２」となります。「２×６」にすると、「2人乗りのボートが６そうある」という意味になってしまい、問題の場面と変わってしまいます。

ご家庭での宿題の丸付けなどの際、お子さんが式の順番に迷っていたら、ぜひ次の「見分け方のコツ」を声かけしてみてください。

１　答えの「単位」に注目する。
全部で「何人」かを求める問題では、問題文の中で同じ「人」がついている数字（６人）が必ず左側（1つ分の数）にきます。

２　「○の□倍」と言い換えてみる。
「６人の２倍」だから６×２になるね、と声をかけると、イメージが湧きやすいです。

※「２×６」でも「６×２」でも計算の答えは同じ「１２」になりますが、２年生の段階では式の表す意味を理解することを大切にしています。学校でも図やイラストを使いながら丁寧に指導してまいりますので、ご家庭でも温かい励ましをお願いいたします。



６×２＝１２

後期児童会がスタート！５人のやる気で素敵な学校へ

今年度の後期は、こちらの５人のメンバーで力を合わせて頑張っていきます！

どの役員も「学校をより良くしたい、楽しくしたい！」というやる気に満ちたすばらしい表情をしていました。これからどんな活動を見せてくれるのか、今からとても楽しみです。

